

新科学館の検討状況について

1. 展示等の実施設計について

- 展示等の内容案は別紙のとおり
 - 今後、本案をベースに最終調整を行い、年内で仕様を確定予定
 - 令和3年1月以降、展示及び内装・設備等の整備に着手予定
- ※ 令和2年12月補正予算を計上予定

2. 北九州イノベーションギャラリー（KIGS）の改修について

- 本年7月に基本・実施設計に着手
- 現在、工作室・実験室の新設やトイレ改修等を設計検討中
- 令和3年度に改修工事を実施予定

3 今後のスケジュール

| | |
|---------|--|
| 令和2年12月 | 実施設計終了 |
| 令和3年 1月 | 展示製作に着手 |
| 令和3年 3月 | KIGS 改修の基本・実施設計終了 |
| 令和3年度 | プラネタリウムの仕様調整、製作・設置【継続】 内装・設備等の整備 KIGS 改修工事 |
| 令和4年春 | 開館予定 |

多彩な科学の視点から「考える力」が身に付く科学館

[展示の考え方]

「発見／観察／探索する」といった展示体験を通じて、子供たちの好奇心を「考える」につなげ、科学的な思考を養います

探索する

3階 天体観測のように 展示資料や解説を探す



ちりばめられた 展示から探す



展示全体にちりばめられた展示物や解説により、限られた空間をより広く見せ、宇宙空間を浮遊しているような不思議で美しく、心地よい非日常空間を作り出します。

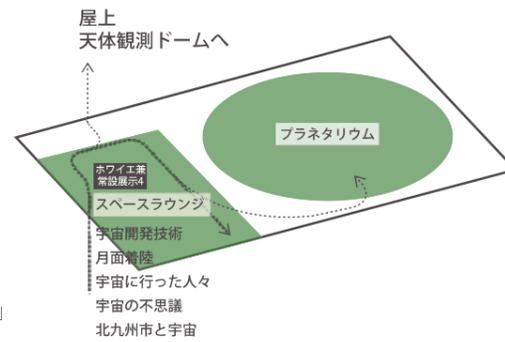
3階

展示構成

(屋上) 天体観測ドーム

スペース・ラウンジ

(展示テーマ) 「こんなにも宇宙に近い北九州市」(ねらい) 宇宙開発の歴史にふれ、科学技術への興味とチャレンジ精神の醸成を促進する。



深まる・つながる

SCIENCEデジタルコンテンツで 展示解説をより深める！

スマートフォンなどを活用したAR・VRなどのデジタルコンテンツで、さらに深い情報を入手。1・2・3Fから館内共用部まで、科学を探す楽しみが広がります。

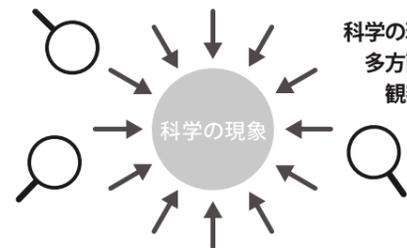


深まる!!

- 3F 展示室の天井や壁面など、あちこちにかざして隠れた解説が楽しめる。
- 2F シンボル展示にかざして展示解説には書ききれない情報を紹介。
- 1F 北九州市の街とつながる情報をCATCH!! 竜巻発生装置に向ければ竜巻を科学的に学べる。

観察する

2階 多様なミカタで 科学の現象を観察！



科学の現象を 多方面から 観察する



いろいろな視点、いろいろな切り口、思考のプロセスなど、展示アイテムに多様な入口を用意することで、来館者が科学の本質を考えるきっかけとなります。

2階

展示構成

Zone 1 導入展示

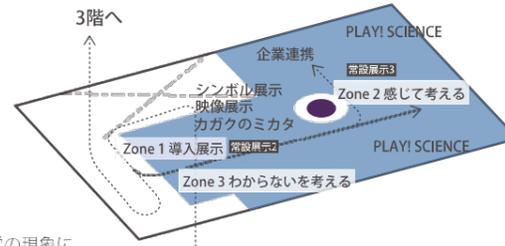
(展示テーマ) 「科学現象の不思議」(ねらい) 展示室の導入として直感的に科学の現象に驚く展示を展開し、期待感を高める。

Zone 2 感じて考える

(展示テーマ) 「不思議と思う・不思議を科学する」(ねらい) 科学の原点である不思議と思う心を育み、不思議と思う現象を科学的視点で考える。

Zone 3 わからないを考える

(展示テーマ) 「科学の進歩と未知への旅」(ねらい) 現代科学でも説明され切っていない身の回りの様々な現象や最新科学を紹介する。



+

発見する

1階 北九州の街に隠れた 科学や技術を発見！



北九州の街に隠された 科学を発見する



身近な北九州の街から科学を発見する 楽しみを醸成し、科学の目を養います。

1階

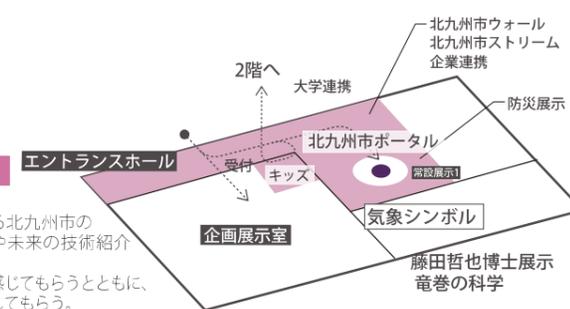
展示構成

北九州市ポータル

(展示テーマ) ぐらしに役立てられている北九州市の企業・大学・学校の技術や未来の技術紹介(ねらい) 科学と北九州のつながりを感じてもらうとともに、北九州の未来を考える場としてもらう。

キッズ

(展示テーマ) 未就学児を対象とした親子で楽しめるゾーン(ねらい) 未就学児から科学や科学館で遊ぶことによる科学や科学館のファンづくり。



+



つながる!!

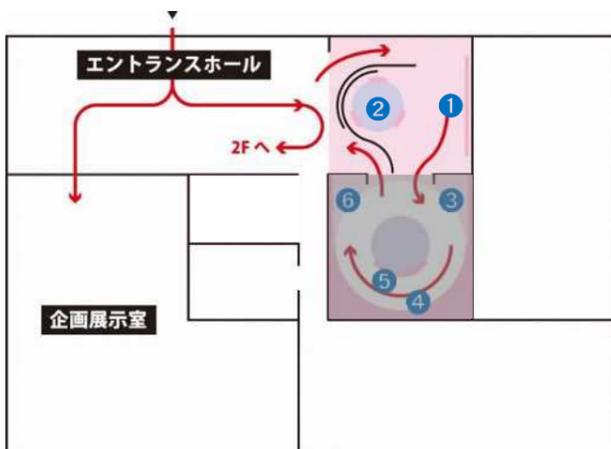
- 共用部 館全体を隅々まで楽しめるよう、共用部にも情報を展開。館内スタンプラリーなどで探しに来たくなる。
- イベント イベントや企画展との連携でいつも新しい科学とつながる。リピーター創出にも役立ちます。

Withコロナへの取り組み 館内で不特定多数が触れる箇所を減らし、接触機会を抑制します。

1階
北九州

北九州市ポータル 北九州市のまちと科学がつながる ALL北九州市でつくるフロア①

■平面構成



■展示構成案

- ①北九州市ウォール
- ②北九州市ストリーム
- ③北九州市の災害を科学する
- ④Mr.トルネード 藤田哲也博士
- ⑤竜巻を科学する
- ⑥大学紹介コーナー
北九州市立大学・早稲田大学・九州工業大学

■展示イメージ



1階展示室入口演出について



科学の不思議やSDGsなどの色をイメージした、照明演出など、1階展示室にふさわしい入口演出で期待感を醸成します。

①北九州市ウォール

北九州市をモチーフとした映像の中から、来館者が街に潜む科学・産業の情報を探し出すデジタル体験コンテンツ。
北九州市の産業を支える企業や先進技術、そしてそれらがどのように暮らしに活かされているのかなどを、高さ約4m・幅約12mのダイナミックな壁面映像で知ることができます。さらに北九州マイスターやものづくりの歴史など、北九州市が誇る情報が詰め込まれた魅力発見ウォールです。



壁面に映し出された映像にタッチすると、詳しい情報を引き出すことができます。

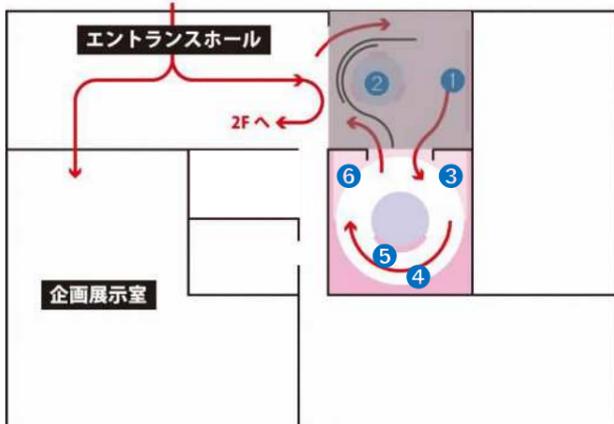
②北九州市ストリーム

北九州市の街並みが3D再現された映像の中を、鳥の視点で空中散歩する体験コンテンツ。普段は見ることのできない視点で街を駆けめぐり疑似体験によって、知らなかった街のすがたを発見することができます。北九州市を滑空する心地よさと、散りばめられた北九州市ならではの情報を探す体験は、何度来ても楽しむことができます。



北九州市ポータル 北九州市のまちと科学がつながる ALL北九州市でつくるフロア②

■平面構成



■展示構成案

- ①北九州市ウォール
- ②北九州市ストリーム
- ③北九州市の災害を科学する
- ④Mr.トルネード 藤田哲也博士
- ⑤竜巻を科学する
- ⑥大学紹介コーナー
北九州市立大学・早稲田大学・九州工業大学

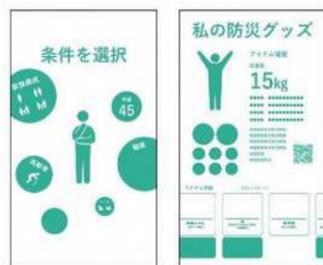
■展示イメージ



③北九州市の災害を科学する

災害のメカニズムや防災対策を、科学館ならではの切り口で学習します。北九州市の地形模型に浸水想定範囲や土砂災害警戒区域などをプロジェクションマッピングで投影し、地理的特徴から直感的に災害リスクや防災行動を学べます。

防災グッズについては、実物を展示するほか、年齢や家族構成などの情報を入力することで、必要なグッズや備蓄量が画面に表示されます。情報は持ち帰ることができ、実際の備えに役立ちます。また、ガスメーターの復旧や災害伝言ダイヤルなどの災害シミュレーション体験もすることができます。



防災グッズ情報イメージ

④、⑤ Mr.トルネード 藤田哲也博士、竜巻を科学する

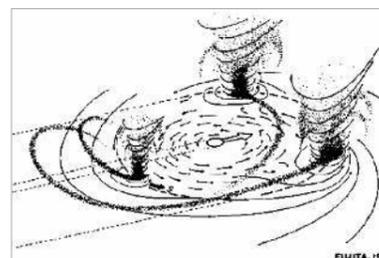
国内最大の竜巻シンボル展示を中心に、藤田博士の功績やエピソードをたどります。漫画風イラストや貴重資料とともに、藤田博士の人柄や今も受け継がれる研究者としての偉大さを感じることができます。藤田博士の竜巻への熱意を知り、光やARIによる演出の竜巻展示を体験することで、より深い科学の視点で竜巻を観察することができます。



博士愛用のカメラ



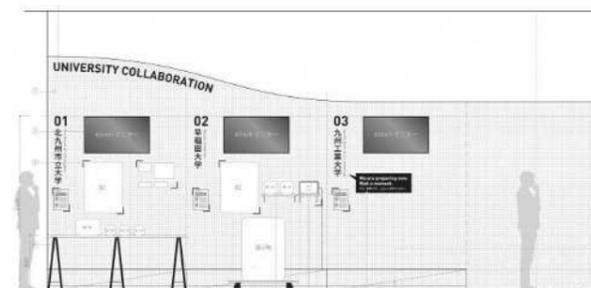
博士が作成した
イースタン航空66便
墜落分析図



博士が作成した子竜巻の図解

⑥大学紹介コーナー

北九州市内の理工系大学が行う研究に応じて、自由自在にレイアウト変更できる展示壁面や什器を設置します。また、ワークショップなどのスペースを確保し、学生主体の実演を行うことができます。



展示壁面イメージ